

★心に残っているあのことこのこと◆

蠟梅・ぼけ・藤

Yさん宅は、四季折々の木々や花たちが賑やかに迎えてくれる。ベッ生活を癒してくれる植物たちは奥さんの細やかな愛情で育てられる。

春を迎えると、それは華やかである。そしてYさんの語りも賑わう。

蠟梅が満開な時は、

「初ものでも、老梅ですな」

「この年になれば、狼狽するものは、無いね」と。

梅や椿などが春のメロディーを奏でる頃、ベッサイドの鉢植えの“ボケの花”が、可憐な淡紅色や白いぶりの花がささやいてくる。初対面にときめきを覚える。

亭主関白が

「俺みたいだね おとぼけだ」と。

すかさず妻が

「でも可愛い花はあんたに似ていない」と。(花言葉は「指導者」「妖精の輝き」等)

薫風の侯になると、『藤の花』が満開となり、上から垂れる紫色の簾となる。

「“藤娘”は踊りませんか」と問うと、すかさず

「藤ばばあだよ」と夫。(花言葉は「歓迎」「陶醉」等)

今日も、緑花に囲まれたご夫婦の『かけあい漫才』は、診療の疲れを癒してくれる。

<クリニックふれあい早稲田 大場敏明>



(アカシア公園で咲いた藤)

心をこめて、母の日プレゼントづくり

三郷市に花卉卸工場がある「メルシーフラワー」さんでは、母の日プレゼント用の鉢植えセットが大人気です。昨年に引き続き、出荷前作業を4日間(4/29、5/1・4・6)障がい者の方へ仕事を提供し、障がい者就労支援センターがサポートに入り約14名の方が実習作業を行いました。今年で2回目ですが、パティオメンバーも頑張っており、この実習を機に昨年は、仕事へ就き働いている方も半数程いるそうです。



工場センター長曰く「派遣アルバイトへ頼むよりも作業効率がよく、みんなよく働いてくれる」と障がい理解も深まり、実際に障がい者雇用も行ってくれています。

今年もみんないい汗を流して、素敵な関係プレーを見せてくれました。

初めて参加したSさんは「行く前は、できるかどうか不安だった。覚えるまで戸惑った。しかし、なれてからは集中してできたし、みんなと協力して花籠づくりをやるのができてよかった」と感想を語ってくれました。

<三郷市障がい福祉相談支援センター 山田一三>

東日本大震災 アカシア会の職員も支援活動へ

忘れもしない3月11日の大地震、津波、原発事故……。全国各地、世界中から支援の輪が広がっています。アカシア会からも現地支援として2名の職員が参加しました。障がい者就労移行支援準備室ラ・ポルタの長谷川明子さんと小規模多機能施設ふれあいの家の寺崎織絵さんです。

長谷川さんから参加した想いや感想等を発信してもらいました。



< 私も支援に >

地震や原発の事を知るに連れ、被害の大きさや深刻さが相当なものだと感じました。同じ国に住んでいる者として、何か出来ることをしたいと思っていました。そこへ派遣の呼びかけがありました。それは原発が及ぼす影響が自分自身にも及ぶ可能性を考え応募をするかどうか悩みました。母親からは「現場を見てくことは大切なことだから行ってきたい。」と背中を押されましたが、決心が付きませんでした。そんな中いよいよ支援部隊も最終の班になりそうだと情報が入りました。そのときに相談した先輩達が明るく「行ってきたいよ。」後押ししてくれて気持ちが固まったのです。

< 報道では見えなかった被災地の実態と被災者の思い >

テレビの画面からは伝えられないほど、広大な地域、多く日常生活を送れなくなっていることに衝撃を感じました。「頑張れ。」というメッセージが報道からも多く見られましたが、方々に会ってみるとそれは馴染まないと感じました。家族や原発によって奪われた人たちに私なら「共に歩みましょう」と言

< 支援活動を通して >

全6日間支援活動の内、3日間は仙台市太白区や若林地訪問をしました。他の2日間は、本拠地坂総合病院近くの避

一歩に加わり、被災した方の肩もみをしながら、お話を聞く訪問で感じたことは、津波の被害は明暗がはっきりと分かれも家族も被害にあった地域、と家も家族も無事な地域が、道

まいました。無事だった方々は「自分たちだけ無事で申し訳ないでした。これくらいの被害で罹災届けを出しては申し訳ない。がいるのに。私たちは幸せです。」などのおっしゃるのですが、話しているうちにだんだんと「実は夜眠ることが出来ない。余震が怖くて、いつでも逃げられるように窓は開けたままにしている。安定剤を処方してもらっている。」など、精神的に傷ついているのに、それを言うことが申し訳なくて口に出せないようでした。

< これから私たちは...。そして日本は >

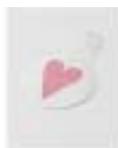
被災地支援から帰ってきてもうすぐ1ヶ月。生々しかった現地の様子もだんだんと薄れてきています。東日本大震災は原発のことを考えると日本全体の問題になっていると思います。私を含め一人ひとりが、他人事ではなく自分は何が出来るかという気持ちを、引き続き持つことが課題だと感じています。



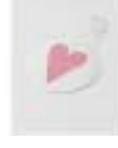
< 足湯支援。心も身体も温まります >

の人々が被災され、張ろう東北。」など実際に被災した家や生活が震災や

区に行き、一軒一軒難所に行き、足湯支援をしました。てしまうことです。家路一本で分かれてしい」と感じているようもっと大変な人たち



新しい仲間を紹介します



アカシア会に4月から新しい仲間が6名加わりました。新年度の4月に6名というのは今までにない人数です。アカシア会の活動にとって頼もしい方々です。職場の仲間から、その人となりを紹介してもらいました。

歌川 恵子さん(障がい福祉相談支援センター)

雨の日も...風の日も...小さな体で力強く自転車で、出勤し、先日の会議時は雨降る中、現場へ車よりも早く辿り着く姿は、他のスタッフも驚きです。

新しい職場で慣れないながらも「何か継続している相談ケースの方へ対応できるよなかすぐに取れない」と言いながらも真摯に振る舞いがちですが、底に秘め



た思いには熱い物があると...べてる関連(精神障がい者支援)の書籍を読みあさっているのを私たちは知っています。

いつもニコニコ明るく、安心感がある方です。前職は市障害者就労支援センターで勤務していたこともあり、障がい者の方の職業生活を支える為の相談支援にも期待をしています。(斉藤 稲垣 大野)

荒木敏子さん(クリニックふれあい早稲田)

クリニックふれあい早稲田の事務長は今まで、法人の常務理事と兼任でしたが、4月に待望の専任事務長が誕生しました。

荒木新事務長は、久し振りの事務長に就任されているそうです(本人談)。常に明るく、院長先生の秘書的存在感から信頼される事務長になられる趣味はウォーキングという事で昼休み美味しいパン屋さんやお菓子屋さんを見つけては美味しいおやつを調達してきてくれるので皆で密かに楽しみ?にしています(笑)。



という事で只今必死になり日常業務をこなさく周りにも気配りをしながら、楽しく仕事をさでもあり、とても頼もしいかぎりです。患者さん

を利用してクリニックの周りを歩いています。(中山 珠絵)

堂免 彩乃さん(地域活動支援センターパティオ)

ついにパティオにも平成生まれの職員がやってきました。珍しい名字ですが、本人はれっきとした埼玉県民です(お父さんの系統は九州とそれが受け継がれているようです。そんな彼女の就職祝い

メンバーさん達と 2000 年日「そういえば中澤に会ったことがある。」とメンバーさんとそんなおもむろに「ジョイマン(お笑いタレント)に会いました。」と一言。サッカー繋がりがいつの間にかお笑い芸人の話になってしまいました。メンバーさんと「この話の流れはどういう繋がりがなんだろう?」「カタカナ繋がりがなんじゃないですか?!」という話をしたことを覚えています。発想力が違うというか天然が入っているのかなとも思いました。



珍しい名字ですが、本人はれっきとした埼玉県民です(お父さんの系統は九州とそれが受け継がれているようです。そんな彼女の就職祝い

メンバーさん達と 2000 年日「そういえば中澤に会ったことがある。」とメンバーさんとそんなおもむろに「ジョイマン(お笑いタレント)に会いました。」と一言。サッカー繋がりがいつの間にかお笑い芸人の話になってしまいました。メンバーさんと「この話の流れはどういう繋がりがなんだろう?」「カタカナ繋がりがなんじゃないですか?!」という話をしたことを覚えています。発想力が違うというか天然が入っているのかなとも思いました。

新卒で大変なことだと思いますが、その若さで積極的にぶつかって、メンバーさんと関わり体験して色々なことを発見し吸収して行って欲しいと思います。(石田めぐみ)

瀬戸てるみさん(クリニックふれあい早稲田)

4月からクリニックふれあい早稲田に非常勤職員として入職しました看護師の瀬戸てるみです。クリニックには、1年程前から母の往診でお世話になっておりましたが、ご縁があってこの度、娘の私もスタッフとしてお世話になる事になりました。

看護師になって十数年、主に病院
きました。クリニックでは、小さなお子
的な病気の治療まで様々な方々が
るので毎日頭をフル回転させて頑張
つクリニックでの看護にも慣れてきた
親の介護の経験も生かし、患者さ
の人らしい生活を送れるお手伝いが
ぞ宜しくお願いいたします。



の内科病棟で大人の患者さんを対象に看護して
さんからご高齢の方、健診や予防接種から慢性
見えになり、こちらも臨機応変な対応が求められ
ています。入職から約一ヶ月半が経ち、少しず
ところ です。
んやそのご家族、地域の皆様方が健やかで、そ
できるような努めていきたいと思っております。どう
(自己紹介)

足立美幸さん(グループホーム・アカシアの家)

今年の4月からアカシアの家に新卒社員として入った足立美幸さんを紹介しま
す。入ったばかりで分からない・慣れない部分も多いとは思いますが、彼女なりに
工夫したり先輩スタッフに聞くなどして日々努力しております。学校で学んできたこ
とは異なる場面も数多くこれから様々な壁があると思いますが、とても明る い方
なのでその持前の明るさで乗り越えていってほしいです。
また、彼女と共に我々他のスタッフも日々努力し、成長できたらと思います。



(清宮 拓也)

高杉春代さん(アカシア会 教育部長)

人と人の縁は、不思議な偶然性とその根底にある必然性でつながっています。高杉さんとの接点は、介護
保険制度の導入時期です。市の行政の
私は、高齢者医療、認知症医療の現場
時代から介護認定審査会に参画してい
修事業の委員に任命され、今は亡き野
高杉さんの企画構想だったのではと推察
その後、野川先生はアカシアの家の開
に参加していただき、認知症介護にご指
んがおられたように思います。



内部から介護の社会化に努力されてきました。
で地域医療の一端を担っており、モデル事業の
ました。そして、市が独自に設けたケアマネ研
川崎玉立大学教授がリーダーとなられたが、
していました。
設に関連した評価判定会議(第三者委員会)
導いただいたが、その橋渡しの位置に高杉さ

この度、三郷市での介護・福祉分野での接点での延長線上で、そして、故野川先生の橋渡しの役割の形
見としても言い得るような関係の発展として、当法人の教育部長に就任して頂き心より経緯を表し、ご紹介さ
せて頂きました。
(理事長 大場敏明)

【編集あれやこれやに変えて】 アカシア祭のご案内 <6月19日(日)12時~15時まで>

毎年恒例のアカシア祭がグループホーム
アカシアの家で開催されます。焼きソバや
豚汁などの出店、バザーなど地域の方と
の交流を図ります。利用者様自ら売り子に
だってなっちゃいます。近所の方、利用者
様のご家族の協力も得て、お店は大にぎわ
い！ バザーの品目も募集しております。また東日本大震災の義援金も集めます。そちらもご協力お願い致
します。皆様のお越しをお待ちしております！ (048-949-2131 実行委員:川崎・會田・渡辺・清宮)

